

■行政改革推進プラン(第6次) 令和5年度取組実績(概要版)

項 目	R5年度取組実績	関係課
1.総合的な行政マネジメント改革		
デジタル社会に対応した業務全般の改革		
◆その他DXに伴う業務フローの抜本的見直し	介護認定業務のうち、認定調査と認定審査会にそれぞれ令和6年3月よりシステムを導入し、ペーパーレス化による業務効率化を図った。	長寿福祉課
連携・協働の推進と民間活力の活用		
◆多様な主体との連携・協働	下水汚泥燃料化事業は、参画する7市1町との「事務委託に関する規約」について令和5年第4回定例会で承認を得た。	下水道施設管理課
2.利用者目線でのサービス向上		
市役所に行かなくても手続等ができる環境整備		
◆オンライン申請サービスの拡充	令和5年度は、年間申請受理件数1,000件を超える手続について、可能なものから順次オンライン化を実施し、合計43件の行政手続をオンライン化した。	情報政策課
窓口サービス改革の推進		
◆書かない窓口の導入促進	市民課内で窓口業務改革チームを結成し、現行の各種窓口業務のフロー及び動線、マニュアルの整理、本人確認手順の統一化及び申請書様式の標準化に向けた検討を行った。	市民課
3.持続可能な行財政運営		
健全な財政運営の推進		
◆効率的な予算編成に向けた改革	企画課主導による事務事業の見直し(対象事業の抽出)を踏まえ、財政課による予算編成作業(予算査定)の中で見直しを検討し、最終的に32事業の見直しを行った。	企画課 財政課
職員の働きやすさ・働きがいの向上		
◆業務フローの見直しに伴う執務環境の改善	ペーパーレス化及び業務効率の向上を図るため、財務会計システムの新たな機能として、電子決裁機能の開発を行った。(令和6年7月稼働予定)	総務課
4.新たなニーズやリスクへの対応		
時代の要請に応じた業務改革		
◆契約事務の電子化に向けた対応	大分県において令和4年9月から電子契約を導入・試行運用を開始したことを受け、同様の電子契約サービスの実証実験を実施した。	契約監理課
危機管理のマネジメント強化		
◆大規模災害等への対応力の強化	家島地区に津波発生時の避難場所として命山を整備した。	防災危機管理課
5.未来を創造する経営財源の確保(歳入・歳出の改革)		
歳入の改革		
◆自主財源の確保	関崎海星館にネーミングライツを導入した。 (契約相手:JX金属 契約期間:R5.7.1~R10.3.31 契約金額:4,750千円 年額:1,000千円 ※令和5年度のみ750千円)	社会教育課
歳出の改革		
◆事務事業の整理・合理化の強化	事務事業評価の強化を図るため、これまで以上に事業効果や課題等が把握できるよう、評価シートの見直しについて検討を行った。	企画課
計画期間中の収支安定に向けた取組の効果的な推進		
◆改善効果額目標の設定と取組の効果的推進	令和5年度取組の結果として2,932,314千円の改善効果額が算出された。 ※見込み効果額を含む (歳入:1,649,143千円 歳出:1,283,171千円)	企画課